

場面状況	経過時間	会話
<p>A子、実家の2Fでひな祭りのオルゴールに合わせて踊っている。</p> <p>高速道路サービスエリアに停車中</p>	00:44	<p>申立人「A子ちゃんはね、おかあさんにいわないかん。みんな仲良くしようってね。」</p> <p>「それがいいんやろ？」</p> <p>A子「あたしはね・・・あれ・・・おとうさん」</p> <p>申立人「みんなが仲良くして、いっしょなんが一番いいんやろ？」</p> <p>A子「おじいちゃんとおばあちゃんと・・・おばあちゃんおじいちゃんとか・・・」</p> <p>「だから裁判所のおじちゃんに・・・と・・・言ってみたい」</p> <p>申立人「そうやね」</p> <p>A子「言ってみたい」</p> <p>申立人「よっしゃ。・・・もうちょっとしたら裁判所いけるように、お父さん頑張ってみるから・・・。」「そしたらいろいろ聞かれると思う。A子ちゃんは本当はどこに行きたいか、聞いてくれると思う・・・。」</p> <p>A子「あ～お父さんのおうち」</p> <p>申立人「おかあさんはいなくてもいいのか？」</p> <p>A子「うん」</p> <p>申立人「いなくてもいいの？」</p> <p>A子「うん」</p> <p>申立人「おかあさんもいっしょだった方がいいんか？」</p> <p>A子「え～いや」</p> <p>申立人「いやなの？」</p> <p>A子「うん」</p> <p>申立人「なんで、怖いの？」</p> <p>A子「うん」</p> <p>申立人「え～なんで？」</p> <p>A子「お父さんがいい」</p>

<p>車，発進する。 A子，釣竿で遊んでいる。</p> <p>この後約37分にわたって父娘の会話が続く。 A子の機嫌は良い。</p>	<p>2:41 3:05</p>	<p>申立人「お父さん怒る・・・ちやう，お母さん怒るの？」 A子「うん」 申立人「怖いのか？」 A子「うん」 申立人「…いかんねー…」  A子「こんな，のびちゃった」 申立人「のびちゃった」「つり，本物のつりいきたい？」 A子「え～，にせもの」 申立人「にせものがいいのか？おもちゃのお遊びのつりがいいのか？」 A子「だってこれ本物みたいじゃないか」 ..... .....</p>
<p>中国道に入り，車が渋滞している。</p> <p>コープとはいつもA子の引き渡しが行われるスーパーマーケットのこと。</p> <p>A子泣き始める。</p> <p>A子，泣きながら必死で訴え続ける。</p>	<p>40:12   40:25</p>	<p>A子「あたし，裁判所行きたい」 申立人「今日は裁判所やってない。日曜日だから。」 A子「今日はどこいくん？」 申立人「…今日は…もうコープいかないかん…」  A子「！！いやだ」「いやだよ」 「コープいかない！」「おじいちゃん，おばあちゃんどこ行きたい！」 (注 コープはいつもA子の受け渡しが行われる場所) A子「ねえ～ね～おとうさん」「おじいちゃん，おばあちゃんどこ行きたい」 「おじいちゃん，おばあちゃんどこ…うう…よう」</p>

		申立人「A子ちゃん泣いてるとおとうさん悲しくなるから・・・」
	42 : 00	A子「行きたい, おじいちゃんおばあちゃん とこ行きたい。行きたい, 行きたい, 行きたくなってきた。」「行きたい, 行 きたくなってきた, おとうさん」
		申立人「行きたいんわかるよ, A子ちゃん帰 りたいんやね」
		A子「あたし…おとうさんといっしょに帰 りたい」
		「だれにきいてみた」
		申立人「だれに聞いてみようか」
		「A子ちゃんもいっしょになって, みんなで裁判所いわないかん」
	43 : 55	A子「ねえねえ, おとうさん, あたしおとう さんといっしょにおじいちゃんおばあ ちゃんどこ帰りたい」
		申立人「それが一番いいんだね」
		A子「うん, 誰に聞いてみよう」
		申立人「でもね, みんなわからないんだ」
		A子「ああ〜」
		申立人「だから, 先生とみんなでがんばって みるから…」
		A子「どこいっきょん…どこ行くん?」
		申立人「今, 伊丹の近くまできてる…」
		A子「コーブ・・・?」
		申立人「そうやね」
ふたたび泣き始める	44 : 35	A子「いやだ, いやだよう〜」
		申立人「コーブ着いても, おとうさんしばらく 抱っこしてるからな」
		A子「それから遊びに行きたい」
		申立人「ほんなら…アメージングワールドちょ っと行くか?」
		A子「おじいちゃん, おばあちゃんどこで ずっと遊びたいよう」
相手方より電話がかかる	45 : 25	申立人「あ, 電話や」

A子、電話に出ようとする父親の手を押さえにくる。そして、  
烈しく泣き始める。

A子、ますます烈しく泣く  
申立人が電話で相手と会話している

A子、泣きながら電話をつかみにくる

烈しく泣いている

烈しく泣いている

烈しく泣いている

烈しく泣いている

A子「だれ？」

申立人「おかあさんや」

A子「えっ！いやだいやだっ」

「いやだ、電話でんとって！」

申立人「でも、かかってきたから…出ないとおこってくるからね…」

申立人「今、宝塚インターの手前ぐらい……………」

A子「うわ～ん、ああ～、おとうさん電話でんとってよ～」

A子「いやだ」

「おじいちゃん、おばあちゃんどこ早く帰りたいよ～」

A子「いやだ」

「おじいちゃん、おばあちゃんどこ早く帰りたいよ～」

「行きたいよ！おとうさん！」

申立人「おとうさんがんばるからね、ちゃんとA子ちゃんがおじいちゃん、おばあちゃんどこ来て、幼稚園いけるようがんばるから」

A子「今は…いやだ、コープ行かないよ～」

「コープ行かない、行かないよ～」

申立人「ちょっとセブンイレブン行こうか？」

A子「いやだ、おじいちゃん、おばあちゃんどこ、今、おじいちゃん、おばあちゃんどこがいい」

A子「おとうさん、行きたい…」

「行きたい」

申立人「行きたいね…」

A子「行きたい、行きたくなってきた」

申立人「でも、A子ちゃんを連れて帰ったらおとうさん警察に捕まっちゃうよ。それでいいの？」

A子「おとうさん～ああ～うあ～」

申立人「A子ちゃんは強い子だから、もう少し

烈しく泣いている

我慢できるやろ？」  
50 : 13 申立人「ずう～つとA子ちゃんのこといつも想  
ってるから…」  
A子「おじいちゃん、おばあちゃんどこ行き  
たい！早く早く」  
「行きたくなってきた。」  
「なってきた」  
申立人「じゃあね、どうしようか…もうちよっ  
としてから一回おじいちゃん、おばあ  
ちゃんどこ帰らしてくれってお願いし  
てみるか？」

烈しく泣いている

A子「うん」  
「おじいちゃん、おばあちゃんどこどこ？」  
申立人「ずーつとむこうだね」  
「…今日はだめ…」  
A子「いやだ！！」  
51 : 15 「おとうさん！！」  
「おじいちゃん、おばあちゃんどこ行き  
たい」  
「今日、行きたくなってきた」

A子、絶叫している

申立人「A子ちゃんの気持ちはわかるよ…」  
A子「行きたい、行きたい、行きたい、」  
52 : 18 A子「行きたい、もう一回」  
「行きたい、行きたい、おとうさん！お  
とうさん、行きたいよ～」  
「おとうさん」「おじいちゃん、おばあち  
ゃんどこ、もう一回いきたい、もうい  
っかい～」

烈しく泣いている

申立人「困ったね～どうしようか……」  
A子「行きたい、行きたい、行きたい、行き  
たい、おじいちゃん、おばあちゃんど  
こ」

A子、絶叫している

「行きたい、行きたい」  
「今日行きたい」  
「行きたい！！！」

A子、絶叫している

A子「おとうさん行きたい、おとうさん行き

A子, 号泣している		たい!!!」 「おとうさん行きたい!!!」 「!!!おとうさん!!!」 「行きたい, 行きたい, 行きたい, 行きたい, おとうさん」
A子, 泣きながら絶叫	54 : 44	A子「行きたい, おとうさん!!!」 「おとうさん!おとうさん!おとうさん!行きたいよう」 「おとうさん, おとうさん!!!」 申立人「わかってる, わかってるからね」 A子「今日行きたい」 「行きたい, 行きたい」 申立人「裁判所のおじちゃんがいいって言うまで我慢して」 A子「裁判所, 行きたい」 「おじいちゃん, おばあちゃんところ, 早く, 今日行きたい」 「行きたい, 行きたい」
号泣, 絶叫		
号泣, 絶叫	56 : 06	A子「おとうさん!!!」 「行きたい, 行きたい, 行きたい」 「おとうさん!!!行きたい」 「行きたい, 今日行きたい」 「おじいちゃん, おばあちゃんところ, おとうさん, 行きたい!!!」 「行きたい, 行きたい, 行きたいよ~!!!」 「行きたい, 行きたい, おとうさん!行きたい!」 「おとうさん!おとうさん!!!あ~」
A子, 泣きながら絶叫	58 : 10	
	58 : 20	A子「おとうさん, おとうさん, おとうさん, 行きたい!今日!!!あ~」
	58 : 30	申立人「ちょっと道路おりてから考えようか・・・」
宝塚 I・C に到着	58 : 50	A子「おじいちゃん, おばあちゃんところ...

		うっ、うっ」
		「行きたい、行きたい…」
	59 : 30	申立人「車をちょっと止める…」
	59 : 48	A子「行きたい、行きたかった…行きたかった…」
	59 : 50	申立人「A子ちゃんが行きたいって思うのが当たり前なんだよ」「A子ちゃん全然わがままじゃないからね」
A子, 号泣している		A子「うん、行きたい、行きたい…うあ〜」
		申立人「ちょっと車止めて考えよう…」
	1 : 01 : 39	A子「行きたかった…行きたい、行きたい、行きた〜い、行きたい」
	1 : 02 : 15	申立人「ここはいやか、伊丹は？」
		A子「う〜」
		申立人「さみしい？」
		A子「うん」「行きたい」
テープ終了		

テープはここで終わっているが、この後、コープに到着後、A子が母親の顔を見るなり一層激しく泣き出し、母親から顔をそむけて父親の車を降りることを拒絶し、約1時間半に渡って申立人が抱っこしていた。その後の経過は陳述書に記したとおりである。